



若者を支えるための講演会

3月24日㊦、大塔総合文化会館で「大塔地域カレッジ」が開催され、参加者は社会になじめない若者の社会的自立に向けた活動について学びました。



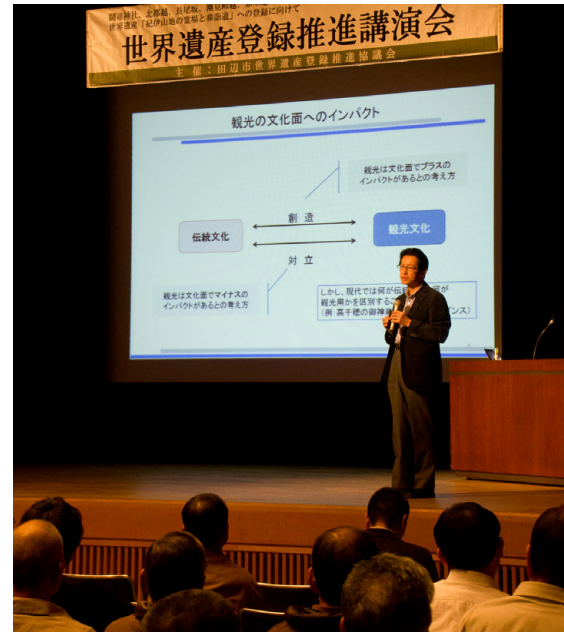
近野の坂道に挑むレース

3月20日㊦、中辺路町近露地域の山中を駆け回る近野山間マラソン大会が開催され、アップダウンのあるコースを405名の選手が走り抜けました。



新消防庁舎の開庁を祝う

4月2日㊦、新庄町の新消防庁舎で開庁式が行われ、消防団音楽隊による演奏や披露訓練のほか、一般の方を対象とした庁舎などの見学会も開催されました。



世界遺産を活用したまちづくりとは

3月28日㊦、紀南文化会館「小ホール」で世界遺産推進講演会が行われ、和歌山県世界遺産センターの辻林浩さんがその目的や意義、近畿大学の高橋一夫さんが世界遺産を生かしたまちづくりについてお話になりました。



一年の豊穡を願う春の祭

4月13日㊦～15日㊦、熊野本宮大社で例大祭が執り行われ、雨が降る中で行われた湯登神事や厳かに舞が披露される本殿祭、神輿と行列が旧社地（大斎原）へお渡りする渡御祭などに大勢の観客が訪れました。



雨が降っても元気に開催！ たなはる

3月27日㊦、闘雞神社や新屋敷町周辺で田辺まちなか春祭り（たなはる）が開催されました。

初の開催となるフリーマーケットでは、手作りのお菓子やアクセサリなどの小物、洋服などが飛ぶように売れ、大勢のお客さんにぎわいました。メイン会場となる闘雞神社のステージでは、中学校の吹奏楽部の演奏が行われたほか、たなべえなどの地元のキャラクターが参加した運動会も開催。観客の皆さんはユニークな動きやかわいらしいしぐさに癒やされていました。また、忍者修行体験では、敵から逃げたり、隠れたり、戦ったりと子供たちが大奮闘。あいにくの天気でしたが、田辺に春を呼び込むような1日となりました。



キラキラ新入生♪ 梅干しをプレゼント

4月8日㊦、秋津川小学校で3人の新入生への梅の贈呈式が行われました。

J A紀南青年部では、特産物である梅干しを食べる機会づくりと、梅が地域の主要産業であることを知ってもらうために、管内の小学校の新入生に入学祝いとして梅をプレゼントしています。この取組は今年で7回目で、白干し梅と味付け梅の合計5粒が配られました。

子供たちは「しょっぱい！」と驚きながらも、大粒の梅干しを頬張っていました。青年部の坂本旭部長は、「梅を食べる若い世代が減っている。子供たちが食べるきっかけになってくれれば」と話してくれました。